

字分け

日本

連日ニュースの放送を見ていると、放射能汚染の実際が最初の報道と比べてはるかに深刻なものだと分かってきました。今多くの人が、

「何故こんな目に会わなければならないのだろうか」

と天を仰いで質問しておられるのではないのでしょうか。

ひとつの考え方というか、見方では、全世界の原発が地上から消えるための大いなる犠牲と言えないでしょうか。犠牲になられた方たちにとっては納得できないという憤りや、胸もつぶれる思いがあるとは思いますが、でも起きてしまったのです。犠牲になってしまったのです。それは元には戻せないのです。亡くなった家族や親しい人たちも帰ってはこないのです。

今この時、この日、この瞬間に人々がそれぞれ味わっている悲しみや苦しみや怒りを「そのまま、その通りに受け止め、味わい」それでも生きて、生き抜いていかなければならないのです。

私の体の中でも変化が起きています。もう何か月もずっと胸の中心部（胸腺）が痛いのです。以前はよく頭痛がしました。胃がむかついて食欲不振もよくありました。内部被ばくに気づいてからはいろいろな方法でデトックスを始め、頭痛とむかつきは収まりましたが、胸の痛みは続いています。

体が痛い、だるいという人々にはヒーリングをさせていただいていますが、不思議なことにヒーリングをしている時にはあまり胸の痛みがないのです。それで、胸腺の痛みは心理的なものが原因なのではないか気づきました。

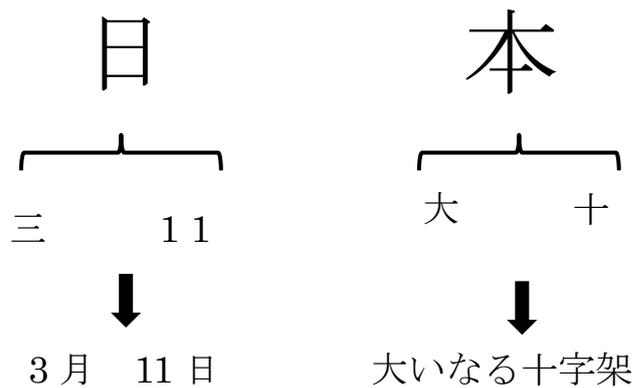
よく「みんなひとつ」、「みんな友達」ということばをテレビに登場する人たちが言っています。これは悲しみや苦しみに対する同情のことばです。他者の悲しみや苦しみを自分のものとして共有していることを「同情」と言います。直接の犠牲者と同じように胸の苦しみを味わっている同情者が日本、いや世界にあふれているわけです。これは地球人類の連帯という現象が今起きていることを物語っているのではないのでしょうか。そのきっかけをつくったのが日本の大震災と原発事故というダブル災害なのだと思います。

以前にもたしかに災害は多くありました。しかし今回の災害がこれほど世界の人々の心を震撼させたのは、「映像の力」です。津波にのみこまれて行く町々、非難所でじっと悲しみと寒さと飢えに耐えている人々、そして「きのこ雲」を噴き上げている福島原発3号機のリアルな動画です。これが衝撃的なイメージとして「世界中の人々の心を動かした」のです。

日本の「日」という字は横に三本の線、縦に日本の線でできています。「本」という字の

方は大という字と十字の形の二つに分けられます。十字は聖なる形として古来からあがめられて来ました。丸に十字が入った形を神として祭ってある神社もあります。でも人類に一番大きな影響を与えた十字形はキリストの処刑という究極の自己犠牲の象徴ではないかと思えます。二千年の長きに渡って人類の潜在意識に影響を与えてきた形です。今日本は究極の犠牲を払っているのです。

究極の自己犠牲とは「最も神聖なる愛の行動」なのです。これをしっかりと胸で受け止めてください。そして悲しみに埋没して無気力になる自分に対して、自分ができる最大の愛の行為は何かを考えて、立ち上がってください。奮起や勇気というのはものすごいパワーなので、きっと元気がでてくると思えます。



2011.6.11

菊池静流